

2008年
6/11 WED
第1794号

THE SEMICONDUCTOR INDUSTRY NEWS 半導体産業新聞

半導体関連①

●日本精密電子

CMPリテーナー リングの生産体制強化

新棟建設で太陽電池分野へ参入計画

日本精密電子(横浜市
泉区中田北二一九一、
一住通務社長、045-
八〇五-三三七二)は、C
MPリテーナーリングの生
産体制を強化する。建築中
の熊本工場第二期工事に統
一、第三期工事の着手を計
画。さらに競争を拡大する
ため、太陽電池製造装置用
部材加工にも進出する予定

である。
同社は、在厚製作所の協
力工場として在厚製CMP
装置の純正リテーナーリン
グを製造しており、業界ト
ップシェアを獲得してい
る。特に、独自の特許技術
による鏡面加工を施したリ
ングは表面粗さRa・One
m以下を実現し、フレック
インの負荷低減やダウンスタ

イムの短縮、ダミーウエハ
ーやスラリー使用量の削減
に寄与している。
二〇〇七年度は、在厚製
作所のCMP装置シェアの
上昇に伴い、同社のリング
も販売が好調に推移。前年
度比約三〇%の増収を記録
した。客先の開発した違法
コピーを防止するリング構
造の技術的なサポートや、

SCM(サプライチェーン
マネジメント)の積極的な
構築により「ネクトロンP
PS」などのスーパーエ
ン プラ樹脂素材で差別化し、
高い競争力と樹脂素材の安
定確保体制を構築した。
生産面では、既存の本社
工場・藤沢第一工場(神奈
川県藤沢市)、藤沢第二工
場A/B棟(同)、熊本工
場(熊本県荒尾市)をあわ
せて月産三〇〇〇枚以上の
リング生産体制を構築し、
納期管理面で客先の発注に
柔軟に対応できる体制を確
立している。現在、熊本工
場で第二期工事を進めてお
り、五月から設備搬入を開
始する。熊本第二期ではリ
ング製造のほか、製造装置
部材や電極の再生、チャン
バー加工などを手がける予
定で、リングに代わる新規
事業の育成を目指す。
さらに、競争拡大を図る
ため、熊本工場で第三期工
事の計画を進めている。当
初三・二億円を投じて新棟
を建設。航空宇宙用部品な
ど各種部材加工の受注拡大
を目指す考えだ。そのひと
つとして、太陽電池製造装
置の部材加工・再生を事業
化する方針で、営業活動を
本格化する。第三期工事は
「最終的に総額八億円程度
を投資する」(一住通務社長)
予定だ。

★ トップページへ戻る